

## 【授業科目】 経済学

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
岩崎 祐子	1年次後期	選択	1	15	講義	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	<p>授業概要／この授業では、経済の基本的なしくみについて講義する。また、現実の経済を理解するために、新聞記事を取り上げて、経済ニュースを解説する。 課題に対するフィードバック方法／提出された課題について、授業時に全体の総評コメントを行なう。</p>						
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>①経済の基本的なしくみがわかる。 ②関心のあるテーマを見つけ、関連ある資料等の情報収集ができる。 ③自分の感じたこと、考えたことを表現することができる。</p>						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>事前学習：指定した関連Webサイト、資料を事前に読んでおく（週2回、各60分）。 事後学習：講義で学んだことの振り返りを行う。各自で興味のある新聞ニュースについて考える（週2回、各60分）。 さらに学習を深めたい場合には、資料・参考書等を紹介するので、教員まで問い合わせ願いたい。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 第2回 消費者行動 第3回 企業と生産活動 第4回 市場の役割 第5回 政府の役割 第6回 金融の役割 第7回 物価 第8回 景気</p>						<p>全て 岩崎</p>
評価方法 評価基準	<p>授業中に作成する小レポート 50%、定期試験 50%</p>						
教科書	なし		参考書等	<p>小峰 隆夫 (著)、村田 啓子 (著) 『最新日本経済入門 第5版』、日本評論社</p>			
学生へのメッセージ	<p>この授業を通して経済ニュースに関心をもってもらいたい。 図書館に参考図書が揃っているので、学習の参考にされたい。</p>						